



今日は新年度最初の活動日でした！今日の参加者は大人24名、子ども10名。大畔の森では木道清掃・草刈(中学校脇と中学校側の階段)・田んぼ代かき・モミジとクヌギの植樹・カブ/ネギの種まき・子ども会員の畑の畝作りを、西初石小鳥の森では清掃・アオキの抜根作業をそれぞれ行いました。その後11時より自然観察会を行い、お昼には大畔の森の野草の天ぷら・大畔の森で収穫したお蕎麦とお米の試食会を行いました。



刈払機を使用するときは、30分行ったら5分以上休憩。キックバックを意識しながら行いました。刈払機でできないところは鎌を使って手刈りです。

中学生・高校生会員は大先輩に教わりながら、モミジ2本とクヌギ10本を植樹しました。

自然観察会。アマナなど春の間だけ綺麗に花を咲かせ、その後は土の中で過ごす植物『スプリング・エフェメラル』が大畔の森にはあります。浦島草の話の一つ。雄花は虫が花(袋)に入って花粉をつけたら下の方にある穴からでていくけれど、雌花は下の方に穴がないため虫が来て受粉をしたあと、外に出られずその中で死んでいくそうです。また雄花は生長して球根部分に栄養を蓄えると雌花に切り替わることができるとのこと！自然は奥深く面白いです。今日はいろんな発見気づきがありました。



子ども会員の畑。1年前に作った堆肥を運んで畑の中にすき込みました。子ども会員で話し合い、育てるものを決めました。

代かきの季節になりました。水を入れながら、土を柔らかくしていきます。次回もこの作業は続きます。

